



2025 年 11 月 21 日

農林中央金庫

株式会社 FRD ジャパンへの出資について ～陸上養殖の産業化を通じて、食料安全保障の確保に貢献～

農林中央金庫（代表理事理事長：北林 太郎、以下「当金庫」）は、閉鎖循環式陸上養殖システムの設計・開発およびサーモントラウトの陸上養殖・販売を実施している株式会社 FRD ジャパン（代表取締役：十河 哲朗、以下「FRD ジャパン」）に対して出資をしましたので、お知らせいたします。

1. 本出資の背景

当金庫では、中期ビジョンにおける 2030 年のありたい姿の 1 つとして、「農林水産業・地域の持続的な発展」を掲げ、農林水産業者・食農バリューチェーン・イノベーション企業への融資・投資拡大、食料安全保障の基礎となる国内生産基盤と循環型農林水産業の構築を進めています。

世界的な人口増加や生活水準の向上を背景に、良質なタンパク源である水産物の需要は年々増加しており、食料安全保障の観点からも水産物に対するニーズはますます高まっています。一方で、海面での養殖の適地が限られているなかで、今後も伸長する水産物需要を支えるためには、気候等の外的要因の影響を受けにくく、安定生産が可能な陸上養殖の産業化が世界的に注目されています。

そのような中、FRD ジャパンが推進する日本国内でのサーモントラウトの陸上養殖事業は、これまで海外輸入に依存してきた生食用サーモン類を国産に置き換えることを可能にし、食料安全保障の強化や食料自給率の向上に資する、極めて意義の高い取り組みであると認識しております。

なお、今回の出資金の一部は次期新プラントとして構想する生産拠点開発（Phase3）に向けた先行投資資金等に活用される予定です。今回の出資を通じて、FRD ジャパンおよびその親会社の三井物産株式会社をはじめとした共同投資者とともに、持続可能な陸上養殖の産業化に取り組み、食料安全保障の確保に貢献するものです。引き続き、金融業務を通じて農林水産業の発展に寄与する協同組織金融機関として、持続可能な食料供給体制の構築に貢献してまいります。

2. FRD ジャパンについて

FRD ジャパンは、2018 年よりサーモントラウト陸上養殖の技術実証を埼玉・木更津プラントで実施しております。これまで 30 世代以上の魚を養殖し、独自の閉鎖型循環システムによって魚の生育に理想的な水質を維持することで、サーモントラウトを安定生産できることを実証してきました（Phase1）。

かかる実証結果を踏まえ、商業化に向けた取り組みとして 2023 年に年間 3,500 トン規模の生産が可能な富津プラントの建設を開始、2026 年より稼働を予定しております（Phase2）。

また、将来的には、日本やアジア中心とした海外において大規模プラントを複数展開していくことを目指しております（Phase3）。

<FRD ジャパンの概要>

(1) 商号	株式会社 FRD ジャパン
(2) 所在地	本社・埼玉プラント：埼玉県さいたま市 木更津プラント：千葉県木更津市 富津プラント（2026 年稼働予定）：千葉県富津市
(3) 設立	2013 年 12 月
(4) 代表者	十河 哲朗
(5) 事業内容	独自開発の閉鎖循環式陸上養殖システム※1 の設計・開発・運用 サーモトラウトの養殖・販売

※1 陸上の閉鎖された空間で水を循環・ろ過させながら育成する方法。海面養殖と異なり、天候や寄生虫・病原菌の影響を排除でき、安定した生産が可能。また、バクテリアを活用した当社独自のろ過技術により最低限の換水率で水を循環することが可能であるため、一般的な循環式陸上養殖と比較すると水温調整等への電気代を安価に抑えられる。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 経営企画部 広報コミュニケーション班
(藏方・丹羽) TEL：03-6362-7172